

### 💡特に良いと思う点

- **他の施設での利用を断られた人でも受け入れて、日中活動と生活を支援するなど、地域のセーフティネットを目指して取り組んでいます**  
地域のセーフティネット(社会的安全網:最悪の事態から保護するしくみ)として機能することを目指して、他の施設での利用を断られた人でも原則的に拒まず、受け入れてきています。事業理念の1つ「互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築」の基に、利用者の個別状況に応じた日中活動と入浴や食事の介助など、利用者一人ひとりの主体的な生活を支援しています。医療的ケアを必要とする地域の特別支援学校生の進路先不足という社会的課題に対応するため、受け入れ準備をするなど、地域のセーフティネットとしての機能の強化に取り組んでいます。
- **明るい雰囲気のもとに、元気ある職員の個別支援により、利用者は楽しく生活しています**  
利用者一人ひとりが、事業理念の1つ「安心と希望の持てる生活」を過ごせることを目指し、明るい雰囲気のもとに、元気ある職員による利用者の個別状況に応じた支援により、他の施設で落ち着けなかった利用者も含めて、利用者は自らのできることを生かした日中活動と、思い思いの生活を過ごしています。職員からは「事業所の雰囲気が良い」、「職員と利用者の関係性が良い」等の声が出てきています。家族からも「本人は楽しく通所している」、「アットホームなところが良い」、「何かあってもすぐに対応してくれる」など、感謝の言葉が見られます。
- **施設長は理念の実現を目指してリーダーシップを発揮し、利用者の主体的な生活を支援する対応力向上を図り、利用者の増加に繋がっています**  
事業理念の1つ「一人ひとりの自己実現の支援」を実現するには、利用者一人ひとりの主体的な生活の支援が大切だとして、施設長は事業所内に浴場を設け、利用者が毎日入浴できるよう職員も全力で支援するなど、生活上の基本的なことの支援を基本方針としています。施設長は利用者一人ひとりと日々向きあっている職員の気づきによるボトムアップ型の提案と主体的な取り組みを奨励し、結果の責任は施設長にあるとして、事業所をリードしています。利用者支援の対応力を上げたことで利用者の増加に繋げ、経営を早期に安定化させることができました。

### ✓さらなる改善が望まれる点

- **地域との交流を深めるために、地域のボランティアの活用や「夢風船祭り」を開催し、地域からより一層の理解を得ることが望めます**  
地域の福祉関係団体の会議への参加や商工会など各方面の団体との連携を通じて情報交換し、課題を話し合っていますが、地元自治会や地域住民との交流を課題としています。またボランティアの受け入れをしていますが、今後は地域との交流の橋渡し役として活用することも検討できます。例えば、利用者が興味を持ってそうな地域のスポットに案内してもらおうウォーキング支援や、駅から近い利点を生かして「夢風船祭り」を開催し、風船つりやバザーを行って地域住民を招待するなど、地域との交流を深め、事業所を知ってもらうための活動が望まれます。
- **将来的に高齢化や医療的ケアが必要な利用者が増えることの安全対策として、事業所のバリアフリー化を更に進めることが望めます**  
利用者の安全確保を図るため、利用者と職員全員が参加して災害時避難訓練を実施しています。また事故や感染症、侵入、災害などに対して、感染予防マニュアルなどの各マニュアルを備え、対策を実施しており、ヒヤリハットが起きた時は、原因を分析して対策を検討しています。家族からの要望も日常的に受けており、“出入口が狭く、車いすがよくぶつかるので注意して欲しい”などの注意を受けることがあります。将来的に、高齢者や医療的ケアが必要な利用者が増えることから、安全対策として事業所の更なるバリアフリー化を計画することが望まれます。
- **障がい者施設として、現在の利用者の特性や将来的なニーズに合わせて、専門性・機能性を高めるため、検討を重ねることが求められます**  
法人には事業区分が概ね10種類の障がい者関連の事業所があり、この生活介護事業所もその一つです。事業所の基本姿勢として、「誰でも受け入れる」、「セーフティネット」を理念としており、それは非常に素晴らしいのですが、現在の利用者は様々な方々がいるため、職員が行う支援の幅が広すぎるように思われます。利用者の特性に焦点を合わせた支援をするためには安全面からも現在のグループを2つに編成する必要があるかも知れません。事業所にはスペースが十分にあるため、この事業所の理念や地域での役割を考慮し、検討することも考えられます。